

琉球大学学術リポジトリ

事業実施報告

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター 公開日: 2012-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/22948

I 事業実施報告

沖縄・太平洋教育ネットワークイニシアチブ Okinawa-Pacific Educational Network Initiative(OPENI)

1. 交流事業

1.1 学生交流

(1) 作文コンテストによる選考

作文コンテストの参加者の中から、奄美群島内の高等学校、沖縄の島嶼地域所在高等学校及び沖縄県内の大学に作文募集を行い、グアム島へ派遣する6人の高校生・大学生を選考した。

テーマ：「島の発展と課題」

今回の選考では6名全員が高校生となった。

グアム大学、グアム短期大学、パラオ短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学、北マリアナ短期大学からそれぞれ学生1名と引率教員1名を当該大学の選考委員会で選抜してもらい、2008年10月8日(水)～10月15日(水)までの日程で、沖縄で研修、ワークショップ並びに交流会を行った。

(2) 学生交流

グアム大学、グアム短期大学、パラオ短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学、北マリアナ短期大学からの学生6名と作文コンテストで選抜された沖縄・奄美からの6名の高校生との交流を行った。2008年10月12日(日)に琉球大学法文学部において「高校生・学生ワークショップ：島の発展と課題」を開催し、報告会及び交流会を行った。また、琉球大学近くのレストランにおいて、学生・高校生の意見交換を行って、交流を深めた。

1.2 一般市民交流

一般市民のための公開講座を「高校生・学生ワークショップ：島の発展と課題」として、琉球大学法文学部で10月12日に開催した。

2. 大学間協力の推進

グアム大学、グアム短期大学、パラオ短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学、北マリアナ短期大学の引率教員6名とシャペロン会議を開催して、今後の学生交流や研究交流のあり方について意見交換を行った。シャペロン会議、高校生・学生ワークショップの議論を踏まえ、相互の交流ネットワークの構築を目指すための交流会議を行った。このような交流会議を行うことによって、相互のネットワークの構築を前進させる意義がある。琉球大学と大学間交流協定を結んでいるグアム大学と今後の学生交流や研究交流のあり方、研究テーマについて話し合い・意見交換を行った。協議相手は以下の方々であった。

グアム大学学長：Robert A. Underwood

同副学長：Jeff D. T. Barcinas

同教授：Shahram Khosrowpanah

同教授：Mohammad H. Golabi

同教授：丸谷マリ